

知床世界自然遺産地域における平成 22 年度ソフト事業の実施予定について

No.	主体	名称	概要・今後の予定など
1	環境省	知床世界自然遺産地域科学委員会運営	遺産地域の順応的管理の推進のため、専門家からなる科学委員会を設置し、助言を得る。来年度以降も継続予定。
2	環境省	知床世界自然遺産地域における保全・共生のための資料収集及び情報提供	遺産地域の保全管理に係る情報を広く共有するため、知床データセンターの運営を実施する。また、科学委員会のメーリングリストの運営を実施する。来年度以降も継続予定。
3	環境省	知床半島沿岸域における海洋観測ブイを用いた海洋観測等に係る業務	ウトロおよび羅臼の沿岸に海洋観測ブイを投入し、水温、塩分等の観測を行う。来年度以降も継続予定。
4	環境省	知床半島昆虫類モニタリング	知床半島の昆虫類を長期的にモニタリングするため、文献等の整理を行うとともに、既存の植生保護柵の内等において昆虫類調査を実施する。本年度限り。
5	環境省	エゾシカ保護管理計画実行計画策定	エゾシカ・陸上生態系 WG の運営を通じて、エゾシカ保護管理計画実行計画を策定する。来年度以降も継続予定。
6	環境省	(春期) 知床岬エゾシカ密度操作実験	4月から5月にかけて、知床岬に船舶によりアクセスし、巻狩りによる捕獲を実施する。来年度以降も継続予定。
7	環境省	(冬期) 知床岬エゾシカ密度操作実験	冬期に、知床岬に船舶およびヘリによりアクセスし、巻狩りによる捕獲を実施する。来年度以降も継続予定。
8	環境省	ルサ相泊地区エゾシカ捕獲手法検討調査	餌付けやブラインドなどを活用したエゾシカの捕獲手法を試行し、効果的な手法の検討を実施する。検討した手法を基に当該地区において本格的な捕獲を実施予定。
9	環境省	エゾシカ航空カウント、季節移動調査	知床岬におけるエゾシカの冬期越冬個体数をカウントする。また、ルサ・相泊地区においてエゾシカの季節移動調査のため、標識付けを実施した個体の追跡を行う。来年度以降も継続予定。
10	環境省	知床半島におけるエゾシカの植生への影響調査	知床岬の植生保護柵内外の調査およびイネ科、ササ草原等における調査を実施する。また、ルサ相泊地区および羅臼湖における植生調査およびシレットコスミレ調査を実施する。来年度以降も継続予定。
11	環境省	知床半島全域におけ	エゾシカの主要越冬地等を把握するため、ヘリによっ

		るエゾシカ越冬個体数調査	て知床半島全域を低空飛行し、越冬個体数をカウントする。
12	環境省	知床国立公園利用適正化検討調査	適正利用・エコツーリズム検討会議の運営を行う。また知床地域の利用状況調査および知床連山の利用状況調査、羅臼湖の利用状況調査、二つ池における植生調査を実施する。来年度以降も継続予定。
13	環境省	知床エコツーリズム総合推進業務	知床五湖におけるガイド実験の実施等と羅臼町における地域産業連携型エコツアーを企画・実施する。また、エコツーリズムに関する情報発信を行う。さらに、ヒグマ保護管理方針検討会議の運営を実施する。
14	環境省	知床五湖利用適正化検討調査	H23年度からの知床五湖での利用調整地区の導入を踏まえ、知床五湖の利用のあり方協議会を運営する。また植生や利用状況のモニタリングおよび広報を実施する。
15	環境省	知床国立公園ウトロ海域における海鳥の保護と持続可能な海域利用検討業務	ウトロ海域におけるケイマフリの確認個体数の減少等を踏まえ、ウトロ海域懇談会を開催し、ケイマフリ等の生息に配慮した環境保全型事業の推進について検討する。
16	環境省	知床半島における海鳥生息状況調査	ケイマフリ等の海鳥の生息状況、営巣分布、繁殖分布、採餌状況、採餌場所等について調査を実施する。
17	環境省	知床世界自然遺産地域における利用の適正化と野生生物との共生推進事業	ヒグマの目撃情報の収集および保護管理活動を実施する。その他、知床岬の立入実態調査および自然保護業務補佐を実施する。来年度以降も継続予定。
18	環境省	羅臼岳登山道携帯トイレ用ブース導入検討調査	羅臼岳登山道において携帯トイレ用ブースの設置を検討するため、トイレブースの設置試験などを実施する。
19	環境省	知床半島先端部地区利用の心得普及啓発手法検討業務	ホームページ等を活用した利用の心得の効果的な普及啓発を実施する。
20	環境省	海岸漂着ゴミモニタリング調査	昨年度に海岸漂着ゴミを回収した地区において、ゴミの漂着状況をモニタリングする。
21	環境省	シマフクロウの脅威となるアライグマの侵入状況調査	聞き取り調査、痕跡調査、カメラトラップなどによりアライグマの侵入状況を調査する。来年度以降も継続予定。
22	環境省	知床国立公園におけるセイヨウオオマルハナバチ重点監視事	セイヨウオオマルハナバチの遺産地域内及びその周辺地域での分布状況把握、防除、防除に関する講習会を実施するとともに、平成 23 年度以降の防除体制等を

		業	検討する。
23	環境省	知床岬における外来種対策事業	知床岬周辺でのアメリカオニアザミの分布状況調査や駆除作業、駆除箇所の経過観察、駆除作業の検証及びモニタリング体制の検討等を実施する。
24	環境省	羅臼湖線歩道植生保全に向けた検討業務	羅臼湖線歩道の植生の荒廃状況を調査し、効果的な保全対策を提案する。本年度限り。
25	環境省	知床国立公園ウトロ地区における登山道等保全管理事業	羅臼岳の登山道において、水切りや土嚢、ロープの設置などの登山道の維持管理を実施する。
26	環境省	羅臼岳登山線道路保全修復基本設計	実証試験を含めた保全修復の検討を行い、施工・維持管理に必要な基本設計をとりまとめるとともに、携帯トイレブース等の設置検討を行う。
27	環境省	知床国立公園における環境教育事業	科学委員会委員等の協力を得つつ、地元両町の住民を対象に、知床世界遺産の自然環境や野生生物に関する講座を開催する。来年度以降も継続予定。
28	環境省	知床世界自然遺産登録5周年記念イベントの開催	知床世界自然遺産登録5周年を記念して、他の遺産地域も連携して、横浜においてシンポジウムを開催する。本年度限り。
29	環境省	オオワシ・オジロワシ保護増殖事業 人為的餌資源（港及び加工場等の残滓）把握調査	北海道全域を対象として、海ワシ類の人為的餌資源への依存度を把握するため、人為的餌資源の利用頻度等の調査を実施する。
30	環境省	オオワシ・オジロワシ保護増殖事業 オジロワシ営巣実態把握調査	北海道全域を対象として、海ワシ類の営巣状況を調査する。来年度以降も継続予定。
31	環境省	シマフクロウ保護増殖事業	シマフクロウの生息状況調査、標識調査、繁殖地域の監視、給餌、巣箱設置および分科会の開催を実施する。来年度以降も継続予定。
32	林野庁	気候変動の影響モニタリング事業	気候変動の影響を把握するためのモニタリングプログラムを開発するため、冬期気象観測、植生垂直分布調査、オシロコマ調査等を実施予定。
33	林野庁	知床岬侵入防護柵内外調査	平成17年に設置した知床岬の防鹿柵内外の樹木調査等を実施する。
34	林野庁	広域採食圧調査のとりまとめ	平成18～21年度に実施したエゾシカ広域採食圧調査をとりまとめ、調査成果の統合と再分析を行う。
35	林野庁	植生図の作成	大縮尺地図により精緻に知床の植生等の現況を把握

			し、保全管理の検討資料とするための植生図を作成。
36	林野庁	河川工作物改良後のサケ科魚類遡上モニタリング等調査	イワウベツ川の治山ダムの改良個所において、改良効果を確認するためにサケ科魚類の遡上モニタリング、河床変化のモニタリングを実施。
37	林野庁	河川工作物アドバイザー会議の開催	河川工作物改良個所で実施しているモニタリングの結果について、専門家から助言を得るため開催。
38	林野庁	グリーンサポートスタッフの活動	入山者へのマナー啓発活動や不法投棄防止のための活動、標識や登山道の簡易な整備活動等を実施。
39	林野庁	森林情報ポストの設置	入山者から、遺産地域内の森林において樹木等に対する損傷の痕跡等を発見した場合の連絡先として設置。
40	林野庁	イベント等の実施	羅臼湖、ポンホロ沼、フレペの滝などで森林散策会を開催し、知床の森林と直接ふれあうことで森林の生態系保全や環境保全について考える機会を提供。
41	北海道	河川工作物改良によるサケ科魚類遡上効果確認調査	改良工事を行ったサシルイ川及びチエンベツ川について、サケ科魚類の遡上効果を確認するためのモニタリング調査を実施する。
42	北海道	海棲ほ乳類生息状況調査	知床半島及びその周辺海域におけるアザラシ類等の海棲ほ乳類の生息状況を調査する。
43	北海道	Web版しれとこ教室の運営管理	出前授業「しれとこ教室」のストーリーをベースに、ホームページにWeb版を平成20年3月に作成し、運営管理を行う。
44	北海道	エコツアー地域資源のWeb情報発信	平成18年度に調査したエコツアー地域資源178箇所を広く情報発信するため、ホームページにWeb版「eco旅ナビ」を作成し、運営管理を行う。
45	北海道	山岳トイレ問題に関する普及啓発資材作成・配布	携帯トイレの普及啓発のため、リーフレットを作成、配布する。
46	北海道	知床教室の開催	知床の素晴らしさや保全の大切さを伝える出前授業を実施するもので、要望があれば対応する。(札幌市内の1校から開催要望あり)